

昭和57年度《消費者のためのデザイン評価基準調査》報告

# デザイン評価—製品選択のためのガイド

—婦人用自転車、片手鍋、折りたたみ椅子、客用飯碗、電気掃除機によるケーススタディー

# デザイン評価基準調査の概要

日本産業デザイン振興会では、通商産業省の委託により、昭和55年度から3年間にわたり《消費者のためのデザイン評価基準調査》を実施してまいりました。

この調査は、生活により密着した製品を選択するための基礎資料を作成することを目的としたもので、特に57年度調査では、従来定量化が難しいとされてきた製品の感性的側面に重点をおき、生活の中で身近な製品5品種を対象として、実態調査を行いました。

この小冊子は、57年度調査結果をもとに、消費者各人が自分自身で「モノの価値」を発見し、それにもとづいて具体的な製品を選択していくためのガイドとして作成したものです。

ここに掲載いたしましたのは、①電気掃除機、②居間用カラーテレビ、③食器戸棚、④折りたたみ椅子、⑤片手鍋、⑥まほうびん、⑦客用飯碗、⑧婦人用自転車の8例にすぎませんが、この考え方を応用することにより、様々な家庭用品を選択する際のガイドとして、活用いただけるものと思います。

●(財) 日本産業デザイン振興会

## 1=製品選択のポイント

### ① モノを見る眼

どの製品を選ぶか(評価するか)は、最終的には、消費者自身が判断すべきことです。しかし店頭での見映えや、一寸した便利さのみを重視して製品を購入したとすれば、結果的には「使う歓び」「生活の歓び」といった、より深い満足を得にくい製品を購入してしまうことになります。充分納得のいく製品、満足のいく製品を選ぶにはどうしたらよいか、いわば自分流に「モノの価値」を発見していく、その手がかりを示すことが、《製品選択のためのガイド》の役割です。

今日、私達が住む社会は、情報過多社会と言われるほどに、情報が氾濫しています。具体的に製品を選択する際にも、様々な情報が私達の前に投げだされます。カタログ、テレビ・コマーシャル、店頭でのセールストーク、商品テスト誌のデータ、新聞の家庭欄の記事、あるいは使用経験のある人から得た話など、この中から自分にとって必要な情報をピックアップすることがます必要となります。その際最も重要な情報源は、モノそれ自体であるといえるのではないでしょうか。書かれた情報、ある意図をもってまとめられた情報は、やはり二次的情報、モノ自身は第一の情報と考えるべきでしょう。

モノのカタチをまとめる役割は、デザイナーと呼ばれる人達の仕事です。この仕事は、単にモノの外観を美しく仕上げるということではなく、モノの本質、即ちそのモノが生活の中でどのような役割を果たせばよいのかを使う人にわかりやすく伝える、という仕事だと言われています。外観が

美しくなるのは、その本質にまでさかのばって検討された結果にすぎないのです。したがって優れたデザインの製品ほど、私達に多くのものを語ってくれます。つまり、モノからより多くの言葉を引きだすこと、それが自分自身の価値観にもとづいた製品を選択していく第一歩となるはずです。

### ② 感覚からのアプローチ

モノから言葉を引きだす、という例を使いましたが、モノと対話し、有効な情報を得ていくためには、一般的に「感覚」と呼ばれる直感的な対話形式が必要となりましょう。「感覚」というと好みの問題とされがちですが、私達は通常、モノや人間を見た瞬間、何らかの判断を行っているはずです。数字や言葉に置きかえるのではなく、直感的に読みとり、判断する方法、それが「感覚」ではないでしょうか。

《デザイン評価基準調査》は、昭和55年度には主に製品の機能性の面から、製品を判断していく基準となる尺度づくりを行ないました。第2年度目は、所有することの歓びといった、製品に含まれる心理的・象徴的側面を含めた評価尺度づくりを行い、そして本年度は、前述の「感覚」を主題とする調査を実施することで、観念的、主観的と考えられがちであったこの側面からの製品評価の方法を、より明確に把握しようとしています。

## 2=感覚評価

### ① 昭和57年度・デザイン評価基準調査

本年度の調査は、主婦(多摩ニュータウン在住主婦62名)と女子大生(69名)を対象に、家庭用品として身近な5品種(①婦人用自転車、②片手鍋、

③折りたたみ椅子、④客用飯碗、⑤電気掃除機)13品目を用いて実施しています。特に本年度の調査目的が消費者の感覚面での評価を聞くことになりましたので、あらかじめ感覚面での評価言語と思われる20項目を設定し、具体的な製品例を観察してもらい、20項目各々について、「感じる」から「感じない」まで、5段階で評価するという方法を採用しています。

この調査を統計的な分析手法(NGC分析)を使い、消費者が製品から受けとめる感覚を構造的に捉えることにより、製品を選択する際の基準となる尺度を導こうと考えました。

## ②「感覚」の評価尺度

本調査で用いた12品目についての、主婦、女子学生の感覚面での評価を、上述の統計的な手法を用いてまとめると、[図-1] のようになります。この図は「女性は製品を感覚的にどのように受けとめているか」の全体図、いわば「製品に対する魅力チャート」とでも言えましょう。

この図(感覚の評価平面)をみると、そこに5つの基準となる感覚尺度が想定できるようです。

この5つの基準尺度を、①リッチな魅力に引かれる感覚、②伝統、格調の魅力、③安心感、丈夫そう、親しみといった、いわば使い易さ感覚、④は、すっきり、軽快、カジュアルなどシンプル感覚、⑤はフレッシュ、個性的など、いわば生活を革新しようとする感覚と言えるようです。

製品に対する感覚の受けとめ方は、個人個人のライフスタイルによって異りますし、また購入しよ

図-1 感覚面からみた製品評価尺度

昭和57年度デザイン評価基準調査では、主婦(62名)、女子学生(69名)を対象に、①婦人用自転車、②片手鍋、③折りたたみ椅子、④客用飯碗、⑤電気掃除機といった、身近な商品を対象品目として、インタビュー調査を実施しています。

調査項目は 下図に示す20項目ですが、調査結果を単純に集計しただけでは、個々の評価差異はわかりますが、製品相互の関係、あるいは消費者の受けとめる「感覚」の全体像はつかめません。そこで統計的手法(多変量解析)を用いて、全体を俯瞰できる図を作成しました。

この図は、いわば「製品の魅力チャート」とでも呼べるものですが、このような図を描くことにより、感覚面での基準となる尺度を明らかにすることができます。

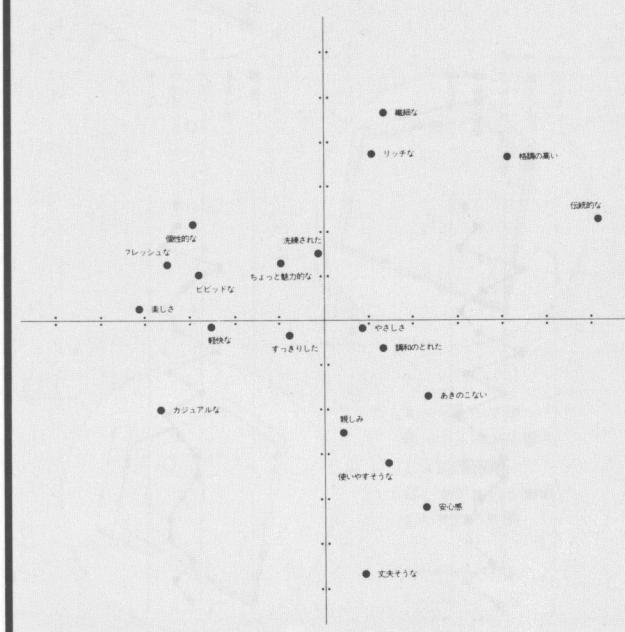


図-2 主婦と学生の評価差異

左図で得た「感覚面での評価平面」に、調査品目として設定した13品目を、主婦と女子学生の回答にわけて位置させたものが下図です。

一覧してわかるように、主婦の回答は、図中第2象限方向へ向けて集中する傾向があり、一方学生側の回答は、品目により、かなり分散する傾向にあることがわかります。

同じ品目を用いているにかかわらずこのような差異が表されたことは、やはり世代によって「感覚」の受けとめ方に差があることを物語っているようです。現在の女子学生がやがて主婦になれば、評価が変わるとも考えられますが、やはり成長期に得た情報の量、質の差異によって、今後ともこの図にみられる差異は、拡大していくものと思われます。

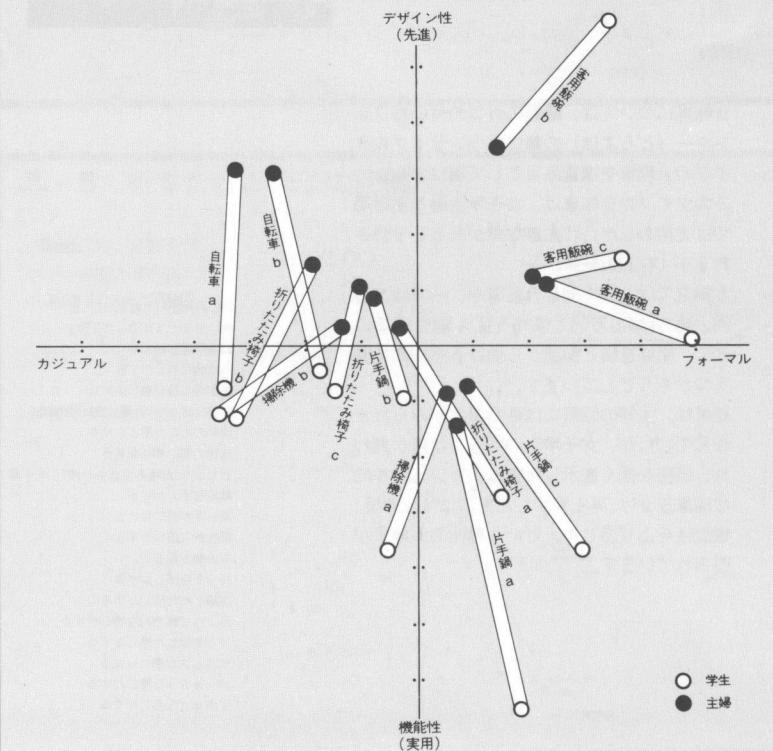
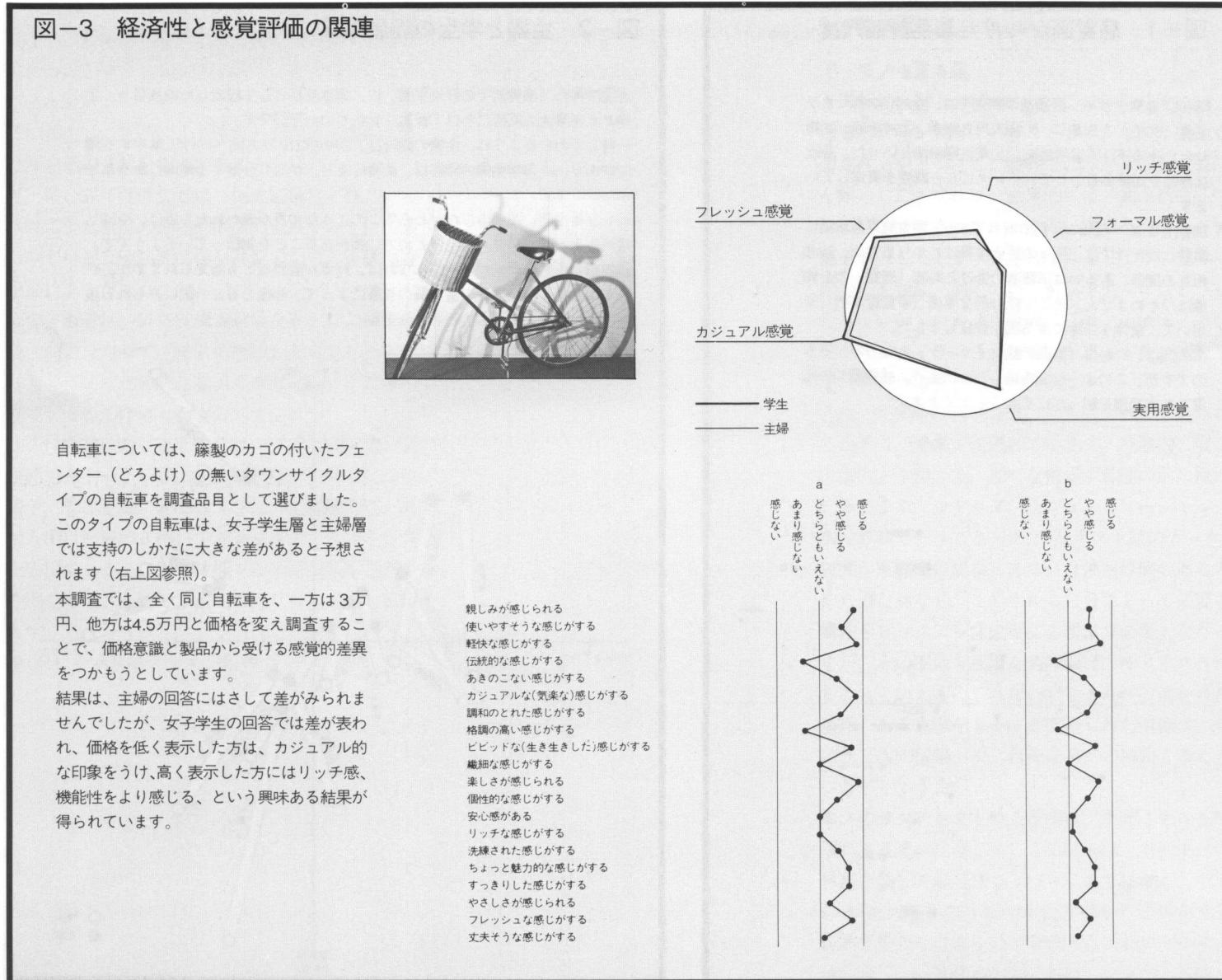


図-3 経済性と感覚評価の関連



うとする製品によっても当然差があります。このような基準尺度の設定は、やや図式的と思われるかもしれません、こうして得られた尺度を一種の「物差し」として使うことにより、自分にとって充分納得のいく商品を選択する手がかりを得ることができます。

（なお、この図は調査対象5品種についての調査結果をもとに作成したもので、いわば一般論的な評価尺度といえましょう。片手鍋および椅子各々の評価尺度については、[図5、6]に示しています。）

この評価平面、評価尺度の構成をみると、消費者の側に、「製品を見る眼」が育ってきたことが明らかに読みとれます。「モノの豊かさから心の豊かさへ」という言葉がよく使われますが、モノを単に所有するだけでなく、そのモノから「使う歓び」「生活の歓び」を導きだしていく。そうした能力が消費者の側に育ってきたことが、感性面の評価の的確さとなって表われているようです。

### ③ 主婦と女子大生の差異

この調査では、主婦と女子大生という2つのグループを対象としていますが、やはり感覚という側面では、この2つの世代（年令的に15才～20才程度の差がみられる）に大きな差がみられました。

[図-2]は、前述の評価平面（魅力のチャート）の上に、主婦と女子大生の回答を調査品目ごとに位置させたものですが、ここで注目すべきことは、主婦、学生の評価は同様な傾向を示しながらも（このことが前述の的確さの表れでもあります）、両者の間に大きな評価差異がみいだせることです。特に女子大生層で評価の幅が広いことは、製品を感覚面から読みとる能力が高いこと、言葉を換えれば、製品に対し明解な主張をもっていることの

表れと思われます。一方主婦の評価は、図の中心部分に集まる傾向がみられます。調査対象である主婦層が、生活意識も高く、また、経験豊かな層であるゆえに、製品の主要部分（ポイント）の評価のみで充分と受けとめているとも考えられますが、今回調査した品目は、それぞれ性格の差が明らかな製品であり、感性面も異っていることを前提とすると、より学生側に近づいた感性面での評価がなされてよいかと思われます。ここでは、生活の中での「モノの価値」を深く考えていく教育が、今後とも重要な課題といえるようです。

また製品各々について、明確な判断を示した学生層については、今後の生活変化の中でも、製品の感覚面に対する豊かな眼が養われていくことを期待したいと思います。

#### ④ 「選ぶ眼」「使う心」

今回の調査は、製品の第一印象ともいべき、「製品から受けとめられる感覚」を中心に調査したものです。

当然のことですが、製品評価は感覚面のみではなく、経済的な評価、使い勝手の評価（機能性からの評価）を合わせ、総合的に判断していく必要があります。ただし冒頭に述べましたように、モノそれ自体を最大の情報源とみたて、そこからの対話により、モノの本質を見ぬいていく「眼」を養うことが大切です。

具体的な製品の選択にあたっては、この《確かな眼》をもって製品を選ぶこと、これにつきるようです。「使うことに歓びの感じられるもの」や「自分なりの生活を楽しめるもの」を選んでいくためには、今日以上に自分自身の《確かな眼》（製品の評価基準）を育てていく必要があると思います。

図-4 感覚評価の差異——片手鍋の例

厨房用品の代表例として、どの家庭でも所有している片手鍋（直径18cm程度）3種を選び調査しています。

aは本体、蓋ともアルミ製のもの、bは本体アルミ、蓋耐熱ガラスのもの、cはステンレス製「無水鍋」です。下図は、この3品目について、図-1で得た感性面からの評価尺度を用いて、差異を明らかにしたものですが、主婦、学生とも各々の製品の特徴を素直に受けとめていることが、わかります。

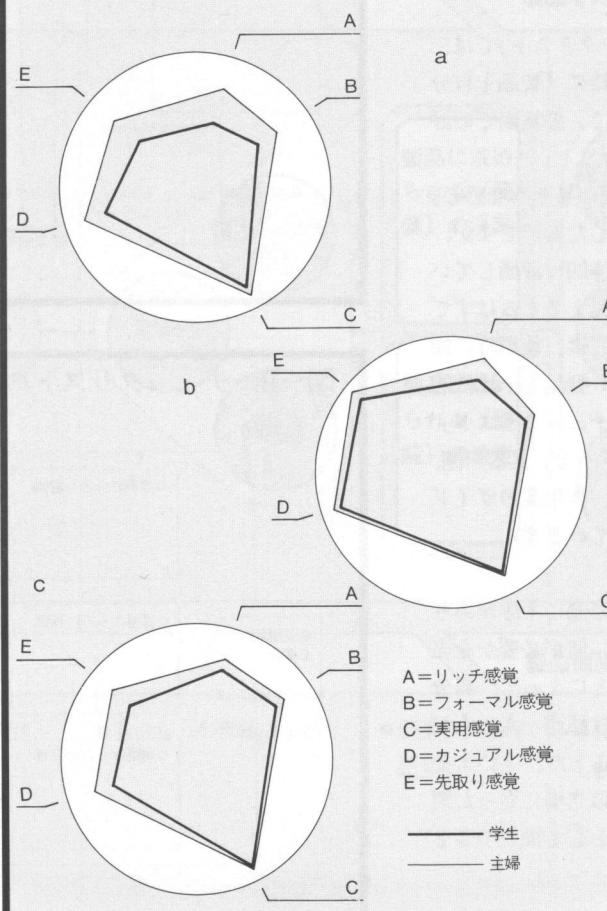


図-5 片手鍋の感覚面での評価尺度

片手鍋3品目の調査結果

から、図-1と同じ方法で評価尺度を導いたものです。

この尺度は、単に片手鍋だけではなく、他の厨房用品を選択する際の基準尺度として用いることができるようです。

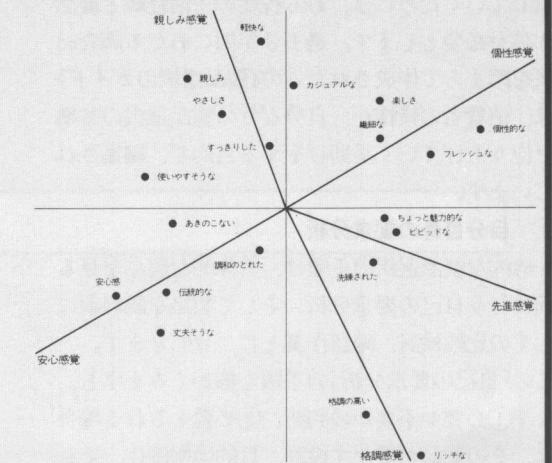
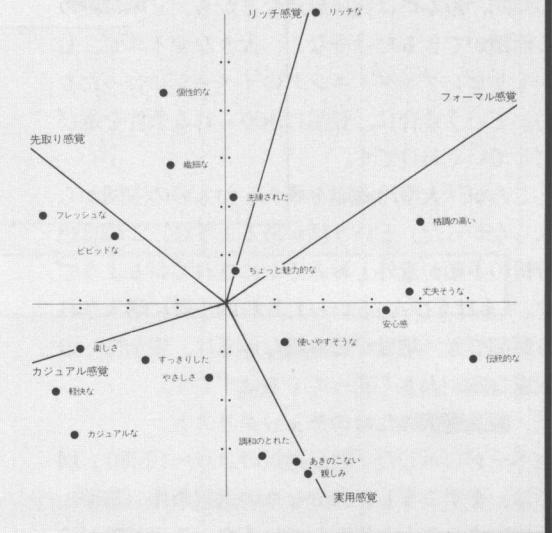


図-6 折りたたみ椅子の評価尺度

本調査では、木製2種、スチール製1種の折りたたみ椅子について調査しています。

右図は、この3品目について、図-1と同じ方法で評価尺度を導いたものです。



# 製品選択のためのガイド

自分なりの価値観にもとづいて、的確に製品を選択していくためには、ある程度の生活経験と製品知識を必要とします。過去3年間にわたる調査結果を踏まえて作成されたこの《製品選択のガイド》は、消費者の皆様が、自分なりの製品選択の基準を作りあげていく手助けをする目的で、編集されています。

## ① 自分自身の要求分析

一般的な製品選択の手順は、具体的な製品を見る前に行う自己の要求分析、そして製品を眼の前にしての比較検討、確認作業とに分かれます。

この「自己の要求分析」の手順も細かくみると、まず①必要か不要かの判断、②必要とされる場合は、その製品が果たす役割、目的の明確化、そして③製品に必要とされる条件の選び出し、となりましょう。例えば冷蔵庫を買い替える場合を考えると、自分の家庭の人数、来客の頻度、食生活の傾向、あるいは住居形式などから、「床に占める面積ができるだけ少なく、大きなサイズで、しかもリビング・ダイニングのイメージに合ったもの」という具合に、製品に求められる条件を選びだしていくわけです。

ところが、「大型冷蔵庫を購入したものの玄関から入らなかった」という話があるように、この自己分析の手順が意外とおろそかにされているようです。「まほうびん」といった比較的手軽に購入される製品でも、幼児が居る居ないでは、安全性への配慮などが大きく変わってくるはずです。

## ② 製品選択のためのチェックリスト

右ページに示した「製品選択のフロー(手順)」図では、まずこうした自分なりの選択条件(基準)を設定することを提案しています。この基準が決

まれば、具体的な製品の選択は、比較的容易となります。

ただし注意しなければならないのは、広告、あるいは店頭での会話では、製品のデメリット情報(何ができるないかななど)が得にくいという点です(最近では、広告等も改善されてきましたが)。そのためにも、製品そのものを「自分の眼」でじっくりと見ていく必要があるわけです。

8ページ以後に掲載した「チェックリスト」では、上述の自己分析の手順の次に、特に「製品を自分の眼で見る」ためのガイドとして、感覚面での評価項目を20項目あげておきました。

この項目の言葉一つ一つは、「使い易そうな感じ」「繊細な感じ」など、やや漠然としたものですが、これらの言葉を使って製品を具体的に評価していくことにより、製品の「質」が見えてくるはずです。(この「チェックリスト」では、使用時の便を考えて、比較的購入価格が高い製品と、比較的安価な製品にわけ、2種類の「チェックリスト」を作成しています。またカラーテレビ、食器戸棚、まほうびんの3品目については、昨年度のガイドをさらに改良したものを掲載しています)

モノの選択は、あくまで消費者の側に主体があります。自分自身の生活を踏まえ、何が必要かを充分に分析し、製品と対話することによって、自分が満足のいく製品を選ぶ、これは私達一人一人が自分の生活をデザインしていくことだ、といえましょう。この小冊子が、消費者の立場に立った製品選択基準確立へ向けての提案として役立つことができれば、幸いです。

図-7 チェックリストの提案ー1(比較的価格の高い商品の場合)

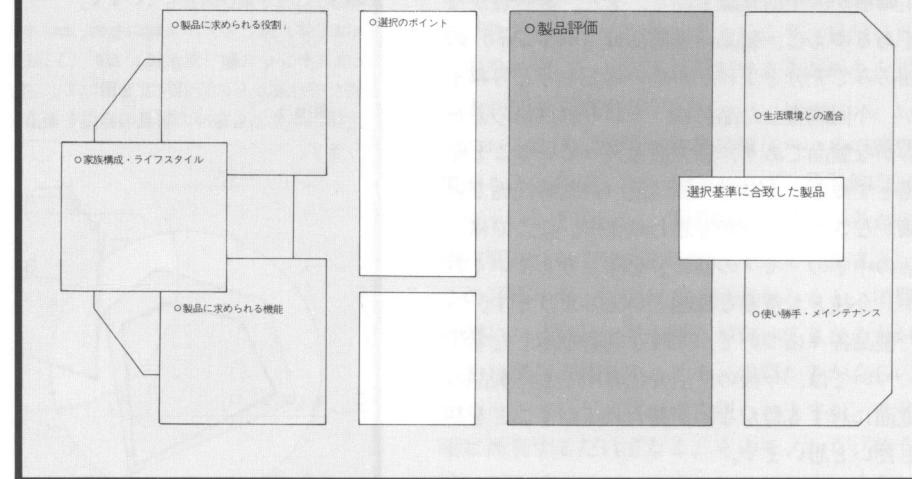
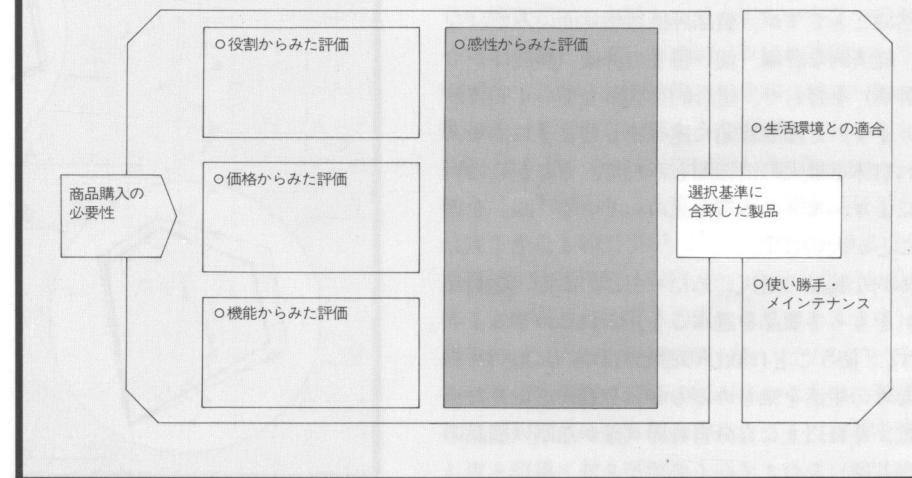
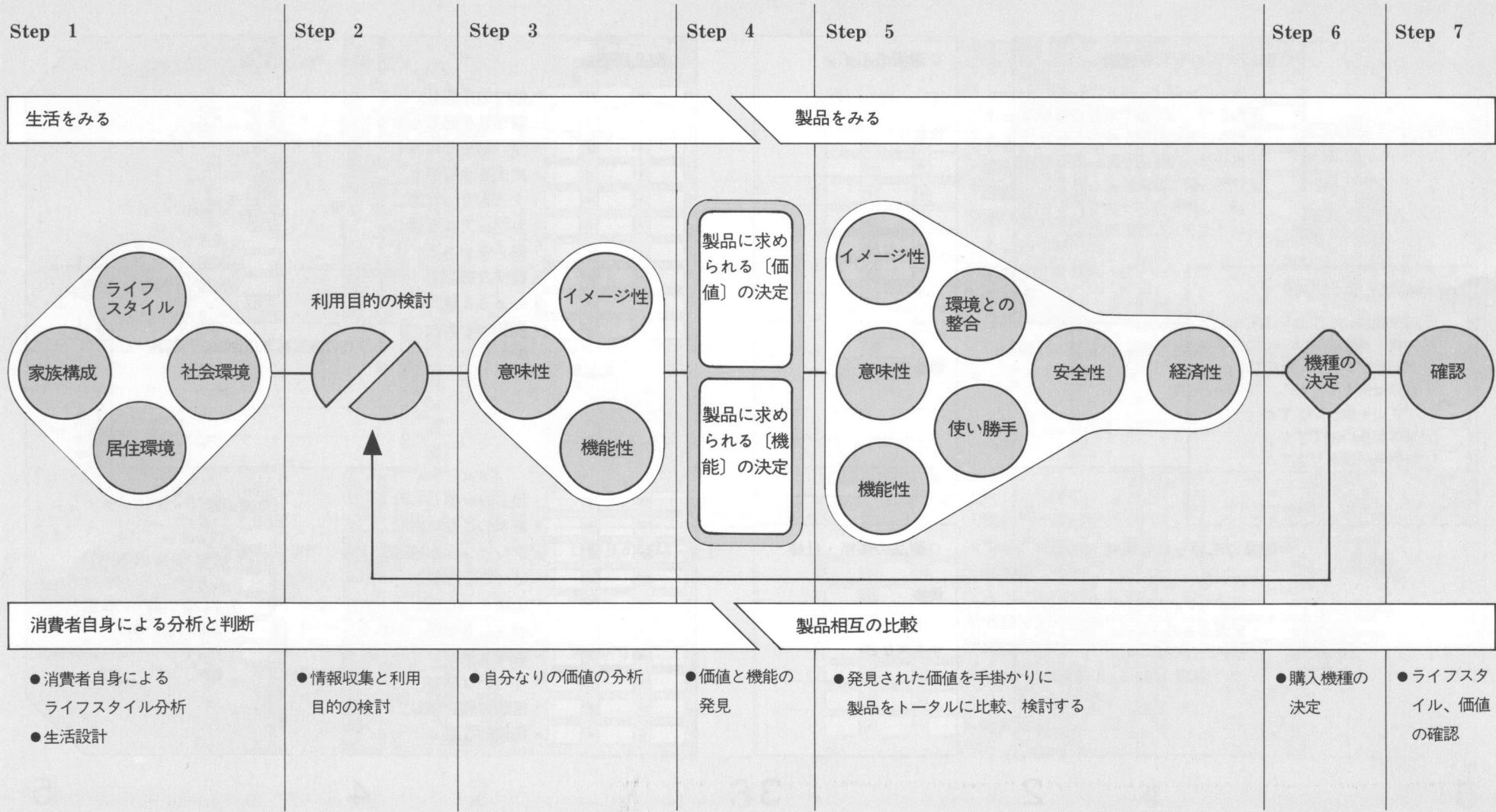


図-8 チェックリストの提案ー2(比較的安価な商品の場合)



● 製品選択フロー



# 電気掃除機、あなたならどう選択しますか?

下記の評価項目を参考にしながら、あなた自身の評価基準を完成させて下さい

○どんな商品が必要ですか

○あなたの「選択基準」を  
完成させて下さい

○製品を具体的に評価して下さい

○もう一度チェックして下さい

○製品に求められる役割

- ・生活の合理化に役立つもの
- ・飽きがこなく永く楽しめるもの
- ・使うことに歡びを感じるもの
- ・自分なりの生活を楽しめるもの
- ・世間一般で常識的なもの
- ・新しい感覚をプラスできるもの
- ・ハイクラスな雰囲気のもの

○家族構成・ライフスタイル

- ・部屋数はいくつありますか
- ・和室、洋室の数はいくつですか
- ・2階建てですか、平屋ですか
- ・家族は何人ですか
- ・小さい子供がいますか
- ・来客が多い方ですか
- ・収納場所はありますか

○製品に求められる機能

- ・使い易いもの
- ・掃除や手入れのしやすいもの
- ・丈夫なもの
- ・補修のしやすいもの
- ・他の製品と調和のとれるもの

○選択のポイント

役割は…

イメージは…

機能は…

○製品の価格・仕様

価格

サイズなど

○製品評価

1

2

3

- ・個性的な感じ
- ・楽しさが感じられる
- ・使い易そうな感じ
- ・丈夫そうな感じ
- ・すっきりした感じ
- ・カジュアルな感じ
- ・安心感がある
- ・軽快な感じ
- ・ちょっと魅力的
- ・調和のとれた感じ

○生活環境との適合

- ・場所への納まり
- ・部屋の雰囲気との調和
- ・和室、洋室への対応

あなたの選択基準に合致した製品  
は…

○使い勝手・メインテナンス

- ・使い勝手（アダプター等を含めて）の良さ
- ・持ちはこび、移動等の良さ
- ・すい込み能力の確認
- ・ゴミ容量の確認
- ・アフターサービス、保証の有無、年限の確認

1

2

3

4

5

# 居間用カラーテレビ、あなたならどう選択しますか?

下記の評価項目を参考にしながら、あなた自身の評価基準を完成させて下さい

○どんな商品が必要ですか

○あなたの「選択基準」を  
完成させて下さい

○製品を具体的に評価して下さい

○もう一度チェックして下さい

○製品に求められる役割

- ・自分なりの生活を楽しめるもの
- ・飽きがこなく永く楽しめるもの
- ・世間一般で常識的なもの
- ・使うことに遊びがあるもの
- ・ハイクラスな雰囲気のもの
- ・新しい感覚をプラスできるもの
- ・生活の合理化に役立つもの

○家族構成・ライフスタイル

- ・家族は何人ですか
- ・小さい子供がいますか
- ・両親と同居していますか
- ・来客は多い方ですか
- ・部屋数はいくつですか
- ・台所と居間は連続していますか
- ・居間には収納場所がありますか

○製品に求められる機能

- ・品質の良いもの
- ・他の製品と調和のとれるもの
- ・使い易いもの
- ・掃除や手入れのしやすいもの
- ・丈夫なもの
- ・補修のしやすいもの

○選択のポイント

役割は…

\_\_\_\_\_

イメージは…

\_\_\_\_\_

機能は…

\_\_\_\_\_

○製品の価格・仕様

価格

\_\_\_\_\_

サイズなど

\_\_\_\_\_

○製品評価

1

2

3

- ・すっきりした感じ
- ・あきのこない感じ
- ・調和のとれた感じ
- ・洗練された感じ
- ・使い易そうな感じ
- ・ちょっと魅力的
- ・丈夫そうな感じ
- ・安心感
- ・伝統的な感じ
- ・格調の高い感じ

○生活環境との適合

- ・収納場所への納まり、安定
- ・部屋の雰囲気との調和

あなたの選択基準に合致した製品  
は…

○使い勝手・メインテナンス

- ・新機能の検討
- ・システム発展性の検討
- ・アフターサービス保証の有無、年限の確認
- ・消費電力の確認
- ・説明書の熟読

1

2

3

4

5

# 食器戸棚、あなたならどう選択しますか?

下記の評価項目を参考にしながら、あなた自身の評価基準を完成させて下さい

○どんな商品が必要ですか

○あなたの「選択基準」を  
完成させて下さい

○製品を具体的に評価して下さい

○もう一度チェックして下さい

○製品に求められる役割

- ・飽きがこなく永く楽しめるもの
- ・使うことに遊びがあるもの
- ・自分なりの生活を楽しめるもの
- ・ちょっと気どった雰囲気のもの
- ・ハイクラスな雰囲気のもの
- ・世間一般で常識的なもの
- ・生活の合理化に役に立つもの

○家族構成・ライフスタイル

- ・家族は何人ですか
- ・小さな子供がいますか
- ・食生活に豊かさを求めるか
- ・来客は多いですか
- ・台所と居間は統一していますか
- ・一戸建て住宅ですか
- ・マンション等の集合住宅ですか

○製品に求められる機能

- ・納まりや安定の良いもの
- ・品質の良いもの
- ・組み合わせを楽しめるもの
- ・掃除や手入れのしやすいもの
- ・丈夫なもの
- ・補修、補充のできるもの
- ・新しい工夫を感じられるもの

○選択のポイント

役割は…

イメージは…

機能は…

○製品の価格・仕様

価格

サイズなど

○製品評価

- | 1                        | 2                        | 3                                   |
|--------------------------|--------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> ・すっきりした感じ  |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> ・あきのこない感じ  |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> ・使い易そうな感じ  |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> ・調和のとれた感じ  |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> ・格調の高い感じ   |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> ・リッチな感じ    |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> ・伝統的な感じ    |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> ・丈夫そうな感じ   |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> ・安心感       |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> ・親しみが感じられる |

あなたの選択基準に合致した製品  
は…

○生活環境との適合

- ・収納場所への納まり
- ・安全性
- ・部屋の雰囲気との調和
- ・他の設備・家具との組み合わせ、調和

○使い勝手・メインテナンス

- ・使い勝手の良さ
- ・掃除、手入れのしやすさ
- ・衛生面の検討
- ・補充、補修の便
- ・(システム製品の場合)部品
- ・補充、拡張の可能性

# 折りたたみ椅子、あなたならどう選択しますか

下記の評価項目を参考にしながら、あなた自身の評価基準を完成させて下さい(□中を5点法で採点して下さい)

○どんな製品が必要ですか

○製品を具体的に評価して下さい

○もう一度チェックして下さい

## ○役割からみた評価

- 飽きがこなく永く楽しめる.....
- 使うことに歓びを感じる.....
- 今の流行を楽しめる.....
- ハイクラスの雰囲気を持つ.....
- 生活の合理化に役に立つ.....
- 当座の役に立てばよい.....

商品購入の  
必要性

## ○価格からみた評価

1 | 2 | 3 | 4 | 5

## ○感性からみた評価

- すっきりした感じ.....
- カジュアルな(気楽な)感じ.....
- 軽快な感じ.....
- 個性的な感じ.....
- 親しみが感じられる.....
- ちょっと魅力的な感じ.....
- 使い易そうな感じ.....
- 調和のとれた感じ.....
- あきのこない感じ.....
- 楽しさが感じられる.....
- フレッシュな感じ.....
- 洗練された感じ.....
- 安心感.....
- ビビッドな感じ.....
- やさしさが感じられる.....
- 丈夫そうな感じ.....
- 繊細な感じ.....
- リッチな感じ.....
- 伝統的な感じ.....
- 格調の高い感じ.....

## ○生活環境との適合

- 収納場所の検討  
 部屋のイメージとの調和

あなたの選択基準に合致した製品  
は…

## ○機能からみた評価

- 納まり、安定.....
- 使い方の簡単さ.....
- 他の製品と組み合わせて楽しめる.....
- 品質の良さが感じられる.....
- 新しい工夫が感じられる.....
- 掃除、手入れのしやすさ.....
- 補修のしやすさ.....

## ○使い勝手・メインテナンス

- 持ちはこび、移動性の良さ  
 安全性、使い勝手の良さ  
 掃除や手入れのしやすさ  
 追加注文は可能か

1

2

3

4

# 片手鍋、あなたならどう選択しますか？

下記の評価項目を参考にしながら、あなた自身の評価基準を完成させて下さい（□中を5点法で採点して下さい）

○どんな製品が必要ですか

○製品を具体的に評価して下さい

○もう一度チェックして下さい

## ○役割からみた評価

- 飽きがこなくて永く楽しめる ……
- 使うことに歓びを感じる ……
- 今の流行を楽しめる ……
- ハイクラスな雰囲気を持つ ……
- 生活の合理化に役に立つ ……
- 当座の役に立てばよい ……

商品購入の  
必要性

## ○価格からみた評価

1 2 3 4 5

## ○機能からみた評価

- 品質の良さが感じられる ……
- 掃除、手入れのしやすさ ……
- 他の製品と組み合わせて楽しめる ……
- 納まり、安定 ……
- 補修のしやすさ ……
- 新しい工夫が感じられる ……
- 使い方の簡単さ ……

## ○感性からみた評価

- 使い易そうな感じ ……
- 丈夫そうな感じ ……
- すっきりした感じ ……
- あきのこない感じ ……
- 安心感 ……
- 親しみが感じられる ……
- 調和のとれた感じ ……
- 洗練された感じ ……
- ちょっと魅力的な感じ ……
- 個性的な感じ ……
- リッチな感じ ……
- フレッシュな感じ ……
- カジュアルな感じ ……
- 軽快な感じ ……
- やさしさが感じられる ……
- 楽しさが感じられる ……
- ビビッドな感じ ……
- 格調の高い感じ ……
- 伝統的な感じ ……
- 繊細な感じ ……

## ○生活環境との適合

- ・熱源との関連  
(ガスを使うか、電気か)
- ・収納場所の検討
- ・他の厨房用品との調和

あなたの選択基準に合致した製品  
は…

## ○使い勝手・メインテナンス

- ・使い勝手（特に内容物が入った時の使い勝手）の良さ
- ・掃除や手入れのしやすさ

1

2

3

4

# まほうびん、あなたならどう選択しますか

下記の評価項目を参考にしながら、あなた自身の評価基準を完成させて下さい(□中を5点法で採点して下さい)

○どんな製品が必要ですか

○製品を具体的に評価して下さい

○もう一度チェックして下さい

## ○役割からみた評価

- 生活の合理化に役に立つ.....  
使うことに歡びを感じる.....  
飽きがこなく永く楽しめる.....  
今の流行を楽しめる.....  
ハイクラスな雰囲気を持つ.....  
当座の役に立てばよい.....

商品購入の  
必要性

## ○価格からみた評価

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

## ○感性からみた評価

- すっきりした感じ.....  
あきのこない感じ.....  
使い易そうな感じ.....  
親しみが感じられる.....  
丈夫そうな感じ .....  
安心感 .....  
ちょっと魅力的な感じ .....  
調和のとれた感じ.....  
洗練された感じ .....  
繊細な感じ .....  
やさしさが感じられる .....  
格調の高い感じ .....  
伝統的な感じ .....  
リッチな感じ .....  
楽しさが感じられる .....  
カジュアルな感じ .....  
軽快な感じ .....  
個性的な感じ .....  
ビビットな感じ .....  
フレッシュな感じ .....

## ○生活環境との適合

- ・部屋の雰囲気との調和
- ・食卓用品との調和
- ・収納・保管場所の検討

あなたの選択基準に合致した製品  
は…

## ○機能からみた評価

- 使い方の簡単さ .....  
掃除、手入れのしやすさ .....  
品質の良さが感じられる .....  
補修のしやすさ .....  
新しい工夫が感じられる .....  
納まり、安定 .....  
他の製品と組み合わせて楽しめる .....

## ○使い勝手・メインテナンス

- ・使い勝手、（特に湯の入った状態を考えて）の良さ
- ・安全性（特に幼児、老人の居る家庭では）の検討
- ・衛生面の問題
- ・追加注文ができるか  
(内瓶を破損した場合など)

1

2

3

4

# 客用飯碗、あなたならどう選択しますか？

下記の評価項目を参考にしながら、あなた自身の評価基準を完成させて下さい(□中を5点法で採点して下さい)

○どんな製品が必要ですか

○製品を具体的に評価して下さい

○もう一度チェックして下さい

## ○役割からみた評価

- 飽きがこなく永く楽しめる.....
- ハイクラスの雰囲気を持つ.....
- 使うことに遊びを感じる .....
- 今の流行を楽しめる.....
- 生活の合理化に役に立つ .....
- 当座の役に立てばよい .....

## ○感性からみた評価

- 伝統的な感じ .....
- 格調の高い感じ .....
- あきのこない感じ .....
- 使い易そうな感じ .....
- 繊細な感じ .....
- 調和のとれた感じ .....
- すっきりした感じ .....
- 洗練された感じ .....
- リッチな感じ .....
- 親しみが感じられる .....
- やさしさが感じられる .....
- ちょっと魅力的な感じ .....
- 安心感 .....
- 個性的な感じ .....
- 軽快な感じ .....
- 丈夫そうな感じ .....
- ビビッドな感じ .....
- フレッシュな感じ .....
- 楽しさが感じられる .....
- カジュアルな(気楽な)感じ .....

商品購入の  
必要性

## ○価格からみた評価

1 2 3 4 5

## ○機能からみた評価

- 品質の良さが感じられる .....
- 他の製品と組み合わせて楽しめる .....
- 納まり、安定 .....
- 手入れのしやすさ .....
- 新しい工夫が感じられるもの....

## ○生活環境との適合

- ・他の食器類との調和  
・我が家らしさ演出

あなたの選択基準に合致した製品  
は…

## ○使い勝手・メインテナンス

- ・使い勝手の良さ  
・衛生面の検討  
・破損の場合の追加注文

# 婦人用自転車、あなたならどう選択しますか?

下記の評価項目を参考にしながら、あなた自身の評価基準を完成させて下さい

○どんな商品が必要ですか

○あなたの「選択基準」を  
完成させて下さい

○製品を具体的に評価して下さい

○もう一度チェックして下さい

○家族構成・ライフスタイル

- ・家族は何人ですか
- ・子供はいますか
- ・一戸建て住宅ですか
- ・マンション等の集合住宅ですか
- ・住まいは市の中心にありますか
- ・交通の便は良いですか
- ・スポーツに興味ありますか

○製品に求められる機能

- ・品質の良いもの
- ・使い易いもの
- ・掃除や手入れのしやすいもの
- ・丈夫なもの
- ・新しい工夫が感じられるもの
- ・補修のしやすいもの

○製品に求められる役割

- ・自分なりの生活を楽しめるもの
- ・使うことに歡びを感じるもの
- ・生活の合理化に役立つもの
- ・ちょっと気どった雰囲気のもの
- ・新しい感覚をプラスできるもの
- ・飽きがこなく永く楽しめるもの
- ・世間一般で常識的なもの

○選択のポイント

役割は…

イメージは…

機能は…

○製品の価格・仕様

価格

サイズなど

○製品評価

1

2

3

1

2

3

- ・軽快な感じ
- ・楽しさが感じられる
- ・カジュアルな感じ
- ・フレッシュな感じ
- ・すっきりした感じ
- ・ビビッドな感じ
- ・ちょっと魅力的
- ・個性的な感じ
- ・親しみが感じられる
- ・あきのこない感じ

○生活環境との適合

- ・収納場所の確認

あなたの選択基準に合致した製品  
は…

○使い勝手・メインテナンス

- ・乗り心地、使い勝手の検討
- ・籠などの収納量の検討
- ・掃除、手入れのしやすさ
- ・アフターサービス、保証の  
有無、年限の確認

1

2

3

4

5

